

Global Scale of English Learning Objectives



“

「英語学習者からは、自分の英語がどのくらい上達しているのかわからないといった不満がよく聞かれます。そのため、設定された一定の目標に向かって努力する機会があるならば、是非ともそうしたいと考えていることでしょう」

バーバラ・ガードナー
学習技術トレーニングコーディネーター
研究グループ

グローバル・スケール・オブ・イングリッシュの学習指標：学習をより効果的に

本書では、グローバル・スケール・オブ・イングリッシュ (GSE) の学習指標について紹介します。この学習指標は、ピアソン・イングリッシュが長年にわたって、世界中の英語教師、ELT教材著者、および言語学専門家と協力して開発してきたものです。GSE学習指標は、英語学習者の人生に測定可能なプラスの影響を与える製品やサービスを提供したいという、ピアソン・イングリッシュの使命の根幹を成すものとなっています。

英語を可能な限り効果的かつ効率的に学習するためには、学習者は次の3つのことを把握している必要があります。

- 自分の英語レベルはどのくらいか？
- 自分の英語は進歩しているのか？
- 長期的な目標の達成のためには、次に何を学ぶことを目標とすべきか？

この3つの質問に答えるために、学習者および指導者は、英語学習の全体的なエコシステムの一部として、以下のものを必要とします。

- 特定の習熟度「レベル」に達しているとはどういう意味か、その明確かつ正確な定義
- 「レベル」の定義に沿った英語指導教材および英語学習教材
- リーディング、ライティング、スピーキング、リスニングの4スキルすべてにおける学習者の習熟度を測定するための評価ツール



「グローバル・スケール・オブ・イングリッシュは、パフォーマンスに基づいたアプローチによる言語の学習・指導・評価という分野において、ヨーロッパ共通言語参照枠 (CEFR) の開発以来最も大きな進歩となるものです」

香港大学 応用言語学名誉教授 デイヴィッド・ヌナン博士

GSE学習指標は、上述の第1点目である「特定の習熟度『レベル』に達するとはどういう意味か、その明確かつ正確な定義」というものを構成する要素となります。学習指標には、プロフェッショナル英語の学習者、アカデミック英語の学習者、若年の英語学習者、および一般英語を学ぶ成人学習者に向けた4つのセットがあり、各セットがその特定の学習者グループのニーズを満たすように作られています。

この分野におけるピアソンの活動の詳細については、<https://www.pearson.com/languages/why-pearson/the-global-scale-of-english.html> を参照してください。

グローバル・スケール・オブ・イングリッシュ

グローバル・スケール・オブ・イングリッシュ (GSE) は、英語習熟度を測定する標準化された細密な尺度です。大雑把なレベル分けで達成度を測る他の枠組みとは異なり、GSEは、スピーキング、リスニング、リーディング、およびライティングの各スキルに関して、評価尺度の各ポイントで、学習者ができることを特定します。

GSEの尺度は、学習の進歩を一步ずつ正確に実証することによって、学習者の学習意欲を高める設計になっています。英語教師の方はGSEを使用することによって、学習者の厳密なレベルや学習指標に合った、最適な教材を選定できるようになります。

GSEは、英語学習およびその評価における世界的な基準として使用することができ、習熟レベルについての真にグローバルな共通理解を提供するものです。

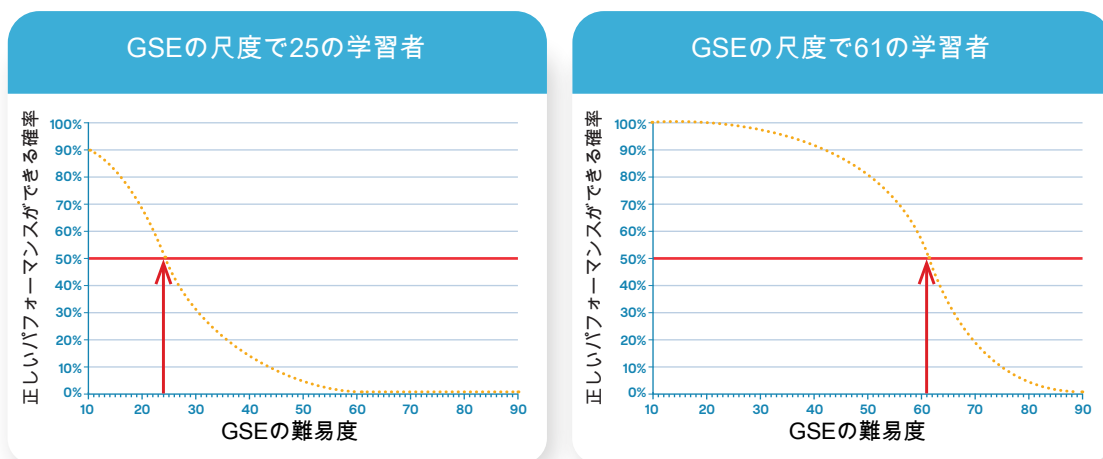
詳細については、[pearson.com/languages/why-pearson/the-global-scale-of-english.html](https://www.pearson.com/languages/why-pearson/the-global-scale-of-english.html)を参照してください。

GSE学習指標はGSEに対応しており、習熟度を示す尺度のさまざまなレベルで学習者ができることを説明しています。

「レベルに達している」とはどういう意味か

言語学習は、数学や電気工学の学習のような、1つトピックを学んだら次はそれに基づく新しいトピックが連続的に発展していく学習とは異なります。言語学習は必ずしも連続的ではありません。また、学習者は、ある分野においては豊富な実践経験があったり、特別なニーズやモチベーションを持っていたりすることで非常にレベルが高いとしても、別の分野では非常にレベルが低かったりする場合もあります。

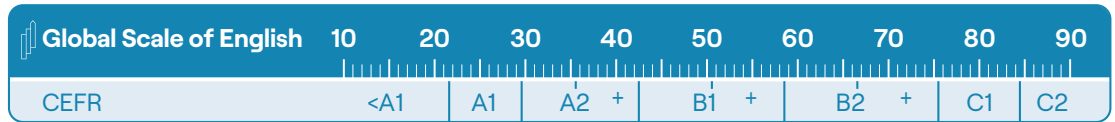
こうした理由により、学習者がグローバル・スケール・オブ・イングリッシュの特定のレベルに「達している」と言った場合、それは必ずしも、学習者がすべてのスキルにおいて、そのポイントに至るまでのすべてのGSE学習指標をマスターしているという意味ではありません。また、より高いレベルのGSE学習指標を1つもマスターしていないという意味でもありません。ある学習者がGSEの尺度で61と評価された場合、その学習者は、そのレベルの学習指標を実行できる確率が50%、より低いレベルの学習指標を実行できる確率が50%超、より高いレベルの学習指標を実行できる確率が50%未満であるという意味になります。言語学習は、学習者一人ひとりによって異なるのです。



ヨーロッパ共通言語参照枠の拡張

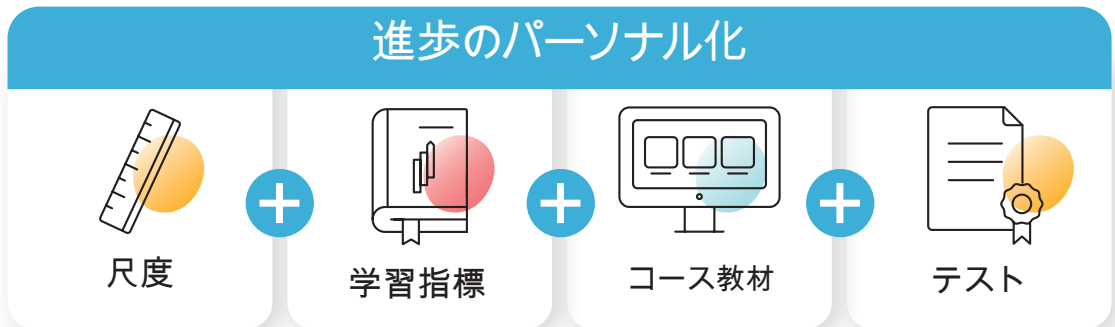
GSE学習指標の開発作業は、ブライアン・ノース氏と欧州評議会（Council of Europe）がヨーロッパ共通言語参照枠（CEFR）を作成する際に実施した研究に基づいて行われました。¹

GSE自体の測定は、CEFRと一致したものとなっています。



CEFRでは、A1（低レベルの基礎学習者）からC2（ネイティブ並みに流暢）までの6段階の分類を使用して、学習者の英語習熟度を測定します。学習者が1つのレベルから次のレベルに進歩するまでに必要とする学習量は、学習者のレベル、経歴、母国語、年齢、能力、およびその他の要因によって大きく異なるため、厳密に定めることは困難です。しかしながら、これまでの研究によって、週に3~4時間学習している人々（言語学習者の多くがこれに該当）のほとんどが、CEFRのレベルを1つ上げるのに2年以上かかっているらしいということが分かっています。習熟度が高くなるにつれて、次のCEFRレベルに達するまでの必要年数はさらに長くなります。2年以上学習しても新しいCEFRのレベルに到達できない場合、学習者は、自分はほとんど進歩していない、あるいは全く進歩していないと感じてしまいます。

GSE学習指標の開発に当たっては、CEFRに含まれる学習指標（「~できる」という記述文）の数と範囲を拡大し、言語習熟度に関するCEFRよりはるかに細かい定義の支えとなる情報を提供しました。一つひとつの小さな進歩がはっきりと分かるほうが、学習者の意欲ははるかに高まります。



英語教師、評価専門家、およびコンテンツ開発者の方にとって、GSEのエコシステムは、各スキルにおけるさまざまな習熟レベルの言語運用能力についての、詳細な全体図を提供するものとなります。コース教材と、GSEに連携した評価ツールを組み合わせることによって、英語教師の方は以下のことが可能になります。

- 生徒の習熟レベルをより正確に理解する。
- 細密なレベルで生徒の進歩をモニタリングする。
- 各生徒やクラスのために、より多くの情報に基づいた教材選択を行う。

¹ これらの学習指標は、「...予備知識...目的および満足に関する学習者の前提という観点から見た言語学習プログラムの計画のために...」（欧州評議会 2001年 p6）ということを使用目的としたヨーロッパ共通言語参照枠（CEFR）の原則を基礎として、それを拡張する形で開発されています。CEFRと同様に、GSEの学習指標も、「試験内容のシラバスの観点から見た言語能力認定ならびにポジティブ・アチーブメントの観点から見た評価基準の計画」（ibid）において使用されることを目的としています。

情報豊富な指導教材および評価資料

教材の著者、編集者、および教師の間では、学習者を中心に据えて、学習者のニーズと期待を上手く反映したシラバスやコースを作成しなければならないという意識がますます高まっています。GSE学習指標は、幅広いスキルと領域において学習者が目標とすべき言語運用能力を、詳細かつ段階的に設定したモデルです。

ピアソンの教材著者および編集者は、GSE学習指標を出発点として、全く新しい指導教材や学習教材を生み出しています。以下はSpeakOutの例ですが、コンテンツ作成者がどのようにして、スピーキングスキル関連のGSE学習指標に沿ったコンテンツを開発しているかが分かります。

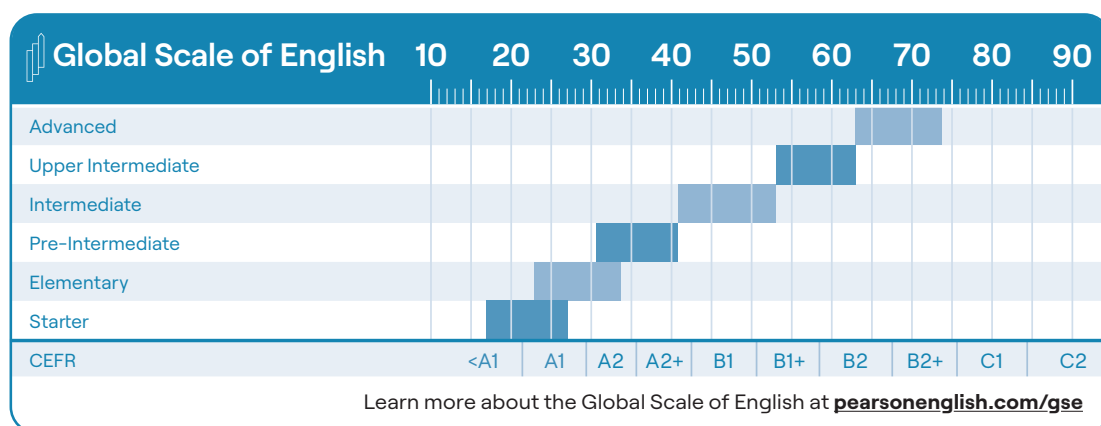
35 非常に基礎的なくつかの決まり文句を使用して、旅の経験を描写できる。(P)

このレッスンでは、学習者に一連の段階的活動を行ってもらい、自分自身の旅行経験を描写できるようになってもらいます。

- 画像やテキストを使用しながら、スピーキングと語彙についての活動を行い、学習者の言語知識や、学習開始前に知っていた旅行関連の主な語彙を確認する。
- 制限作文によって、ある文脈における旅行関連の語彙を練習する。
- プレリーディング・プリディクションによって、旅行経験を描写したパッセージを読めるようにする。
- フォローアップ活動によって、旅行経験の描写に使用される重要なフレーズについての意識を高める。
- スピーキング活動によって、制限文脈における実践を行う。
- 最終活動として、学習者たちがグループになり、自分自身の旅行経験を描写する準備を行う。その後、クラス全体に発表する。

レッスンの終了までに、学習者は必要なインプット(スキル、構成、語彙)を受け取った上で、学習指標を実行する能力を実証できるようになっています。

SpeakOut、Cutting Edge、Total English、Language Leader、Focusなど、ピアソンが提供する成人および若年成人向けの英語学習コースの多くは、GSEと連携しています。学習者用ブックの裏表紙には、コースの各段階で扱われるGSEの範囲を示した情報が記載されています。



上図は、グローバル・スケール・オブ・イングリッシュ(およびCEFR)の対象範囲を示します。それぞれのレベルの学習者のために開発者が設定したGSE学習指標の範囲です。

GSEに基づいた測定を行う評価ツールも開発されています。ピアソン・イングリッシュが提供する最新の評価ツールはProgressというものです。これは学習コースの初め・中頃・終わりに行う3つのテストを通じて学習者の進歩を測るパッケージ製品です。各段階で出されるテストレポートによって、GSEに基づく学習者のコニアが示されます。また、改善のためにさらなる努力を要する指標も具体的に特定されます。Progressの詳細については、[pearson.com/languages/why-pearson/the-global-scale-of-english.html](https://www.pearson.com/languages/why-pearson/the-global-scale-of-english.html)を参照してください。

GSEのレベルとCEFRのレベル

GSEのレベルがCEFRのレベルとどのような関係にあるかを以下に説明します。各レベルの意味、つまり特定レベルに達している学習者ができることの記述に関しては、CEFRの表1（欧州評議会2001年 p.24）で公開されている概要説明に準拠しています。

GSE 10～21（A1未満）：グローバル評価

GSEの10～21の範囲は、CEFRのA1レベルより下の測定可能習熟度に相当します。

この範囲には、ノース氏（2000年 p295）が「Tourist（観光客）」と特徴づけたレベル（GSEレベル13～21に相当）と、ノース氏（ibid）が「Smattering（片言の）」と定義したさらに低い言語能力レベルが含まれます。この2つのレベルはいずれもCEFRには含まれていません。というのも、CEFRにおいて、A1は「生成言語使用における最も低いレベルと見なす」（欧州評議会2001年 p33）とされており、また「Tourist」と「Smattering」は、「特定の状況に対応した、非常に限定的で、事前に何度も練習された、語彙的にもよく整理されたフレーズのレパートリーに、純粋に依存している」（ibid）からです。しかしながらGSE学習指標では、レベル10～21の範囲を全体に含めて、A1に到達するまでの重要な学習ステップを定義しています。

GSE 22～29（A1）：グローバル評価

CEFRでは、レベルA1の学習者がもつとされる能力は、以下のように要約されています。

具体的なタイプのニーズを満たすことを目的とした、なじみのある日常表現や非常に基礎的なフレーズを、理解したり使用したりできる。自己紹介や、自分以外の人々の紹介を行うことができ、また、住んでいる場所、知っている人、持っている物など、個人に関する詳細な情報の質問を尋ねたり、これに答えたりできる。相手がゆっくりした速度ではっきりと話し、補助できる用意がある場合なら、簡単なやり方で対話することができる（欧州評議会2001年 表1 p24）。

GSE 30～35（A2）および36-42（A2+）：グローバル評価

CEFRでは、レベルA2の学習者がもつとされる能力は、以下のように要約されています。

最も身近に関連性のある分野（個人や家族に関する非常に基礎的な情報、ショッピング、地元の地理、雇用など）に関する文や慣用表現を理解できる。なじみのある事柄や慣習的な事柄についての簡単かつ直接的な情報交換を必要とする慣習的作業において、コミュニケーションが取れる。自分の経歴、身近な環境、身近なニーズがある分野の問題など、こうしたものの側面を簡単な用語で描写できる（欧州評議会2001年 表1 p24）。

GSE 43～50（B1）および51～58（B1+）：グローバル評価

CEFRでは、レベルB1の学習者がもつとされる能力は、以下のように要約されています。

職場、学校、余暇などにおいて日頃から遭遇するなじみのある事柄についての明確で標準的なインプットの要点を理解できる。その言語が話されている地域への旅行中に発生しやすい状況の大部分に対応できる。なじみのあるトピックまたは個人的興味のあるトピックについての簡単なつながりのあるテキストを作成できる。経験、出来事、夢、希望、野心などを描写し、意見や計画についての理由や説明を簡潔に述べる（欧州評議会2001年 表1 p24）。

GSE 59～66 (B2) および67～75 (B2+) : グローバル評価

CEFRでは、レベルB2の学習者がもつとされる能力は、以下のように要約されています。

自分の専門分野における技術的な議論を含め、具体的トピックおよび抽象的トピックの両方についての複雑なテキストの主要な考えを理解できる。ネイティブスピーカーとの対話において、双方が負担を感じることなく話すことが十分可能であるレベルの流暢さと即興性を持って対話できる。幅広い分野の主題に関する明確かつ詳細なテキストを作成し、さまざまなオプションの長所や短所を挙げながら時事問題に関する見解を説明できる (欧州評議会2001年 表1 p24)。

GSE 76～84 (C1) : グローバル評価

CEFRでは、レベルC1の学習者がもつとされる能力は、以下のように要約されています。

幅広い分野における難しい長いテキストを理解し、暗黙の意味を認識することができる。表現を探している明らかな様子をほとんど見せずに、自分自身を流暢かつ即興的に表現できる。社会的、学問的、および職業的な目的のために、言語を柔軟かつ効果的に使用できる。複雑な主題について、構成パターン、コネクター、およびリンキングワードの使用を含んだ、明確で構成のしっかりした詳細なテキストを作成できる (欧州評議会 2001年 表1 p24)。

GSE 85～90 (C2) : グローバル評価

CEFRでは、レベルC2の学習者がもつとされる能力は、以下のように要約されています。

見たり聞いたりした実質的にすべてのものを容易に理解できる。口頭または書面によるさまざまなソースから得た情報を要約し、理路整然としたプレゼンテーションにおいて主張や説明を再構築できる。自分自身を即興的に、非常に流暢に、かつ正確に表現でき、より複雑な状況においてさえも、より細かい意味の違いを表現できる (欧州評議会 2001年 表1 p24)。

ピアソンでは、スピーキングおよびライティングのためのGSE評価枠も開発しています。これは、成人学習者向けの学習指標と共に使用することを意図したものです。詳細については、pearson.com/languages/why-pearson/the-global-scale-of-english/resources.htmlを参照してください。

学習指標の出典および由来

学習指標に含まれているコミュニケーション能力記述文の多くは、オリジナルのCEFR文書 (欧州評議会 2001年) に由来するものであるが、あるいはこれを若干修正したものとなっています。ピアソンでは以下のようなさまざまな文献を参照して、新しい記述文を追加しました。

- 欧州評議会が作成した「Breakthrough」の仕様 (トリム氏、2009年)
- EAQUALSおよびブリティッシュカウンシルが作成した「Core Inventory」 (ブリティッシュカウンシル/EAQUALS、2010年)
- 英国および米国の英語コース教材
- さまざまな教育関連省庁が発行するシラバス

GSE学習指標には、著作権者および由来を明示するためのコードが付けられています。

(C) Common European Framework descriptor, verbatim, © Council of Europe

(Ca) Common European Framework descriptor, adapted or edited, © Council of Europe

(CJa) CEFR-J descriptor, adapted or edited1

(N2000) North (2000) descriptor, verbatim

(N2000a) North (2000) descriptor, adapted or edited

(N2007a) North (2007) expanded set of C1 and C2 descriptors, adapted or edited

(P) New Pearson descriptor

1 CEFR-Jとは、日本における英語学習指導のために調整されたバージョンです (プロジェクトリーダー：東京外国語大学 投野由紀夫教授)。GSEプロジェクトでは、CEFR-Jバージョン1 (2012年3月) の語版を使用し、それぞれの記述文をピアソンの記述スタイルに合うように調整しました。

GSE Learning Objectives Reading

Reading

GSE 10–21/Below A1: Reading

-
- 10 10までの基数を識別できる。(P)
アルファベットの文字を識別できる。(P)
-
- 12 簡単な価格表示を読んで理解できる。(P)
-
- 14 名詞の基本的な複数形 (cars、books等) を識別できる。(P)
メニューに書かれたごく一般的な食べ物や飲み物を特定できる。(P)
-
- 15 簡単な案内文に書かれた一般的な名前、単語、ごくごく基礎的なフレーズを認識できる。(CA)
-

GSE 22–29/A1: Reading

-
- 22 11から100までの基数を識別できる。(P)
-
- 26 文字で書かれた短く簡単な道案内 ('to go from X to Y' など) を理解できる。(C)
-
- 27 視覚的な助けがあれば、文字による短い注意書き、標識、指示を理解できる。(P)
場所についての簡単な説明を理解できる。(P)
-
- 28 何か簡単なものを作るための基礎的な指示に従うことができる。(P)
-
- 29 簡単なテキストに含まれるなじみのあるフレーズを理解できる。(P)
単純な課題を実行するための簡単な指示に従うことができる。(P)
-

GSE 30–35/A2: Reading

-
- 30 人の身体的特徴に関する簡単な説明を理解できる。(P)
-
- 31 日常的な資料 (メニュー、スケジュール表など) に含まれる、具体的な、予測可能な情報を探することができる。(CA)
なじみのあるトピックに関するアンケートに含まれる、簡単な質問を理解できる。(P)
ポストカード、電子メール、またはソーシャルネットワークでやり取りされる短い簡単なメッセージを理解できる。(CA)
-
- 32 視覚的な助けがあれば、短く簡単な物語文の要点を理解できる。(P)
-
- 34 日常的な機器 (ATMなど) に関する簡単な使用説明を理解できる。(CA)
視覚的な助けがあれば、短く簡単な情報資料および説明の意味を概ね理解できる。(CA)
-
- 35 簡単なテキストを読み、事実に基づく詳細な情報を抜き出すことができる。(P)
-

GSE 36–42/A2(+): Reading

- 37 短く簡単な、個人的な電子メールおよび手紙を理解できる。(CA)
簡単な手紙やパンフレット、および短い記事に含まれる具体的な情報を特定できる。(CA)
交通機関の遅延やキャンセルについての報告を理解できる。(P)
簡単な言葉で表されていれば、規則や規制(安全性など)を理解できる。(C)
短く簡単な物語文のテキストを理解できる。(CSEA)
- 38 短いテキストに含まれる簡単な情報から、基礎的な推測を行うことができる。(P)
- 39 事実に基づく簡単なテキストに含まれる具体的な情報を特定できる。(P)
短く簡単な物語文やバイオグラフィーを理解できる。(CJA)
一般的な出来事に関連した事実に基づく簡単なタイトルや見出しを理解できる。(P)
オンラインでチケットを購入するための指示を理解できる。(P)
- 40 簡単なテキストにざっと目を通して、主なトピックを特定できる。(P)
- 41 41なじみのある日常的なトピックに関するテキストに含まれる、一連の行動や出来事についていくことができる。(P)
- 42 医学的情報を求める簡単な質問票・問診票を理解できる。(P)
簡単な図表(グラフ、棒グラフなど)に含まれる主要な情報を理解できる。(P)

GSE 43–50/B1: Reading

- 43 見出し、タイトル、ヘッドラインから、テキストの内容に関する基礎的な推測や予測ができる。(P)
簡単な技術情報(日常的な機器の使い方など)を理解できる。(CA)
- 44 薬の飲み方についての使用説明書を理解できる。(P)
2つの短いテキストの類似点や相違点を特定できる。(P)
短いテキストにざっと目を通して、特定の情報を見つけることができる。(P)
インターネットで、日常または仕事に関する特定の情報を検索できる。(P)
- 45 短いテキストにざっと目を通して、書かれた主な目的を特定できる。(P)
スポーツまたは文化的イベントの広告を読んで、必要な情報を探して理解できる。(P)
仕事やサービスに関する広告の情報を理解できる。(P)
- 46なじみのある短い文脈であれば、簡単な未知語の意味を引き出すことができる。(CA)
なじみのあるトピックに関する基礎的な種類の標準的な手紙や電子メール(問い合わせ、苦情など)を理解できる。(CA)
なじみのあるトピックに関する事実であれば簡単なテキストを概ね理解できる。(CA)
ある機器の使い方について、明確で簡単に書かれた使用説明書を理解できる。(CA)
- 48 日常的な手紙やパンフレットおよび公式の短い文書から、自分に関連のある詳細情報を抜き出すことができる。(CA)
- 49 構成がはっきりしたテキストで、主題や関連する考えを特定できる。(P)
- 50 構成がはっきりしたテキストで、要点と例の関係を理解できる。(P)

GSE 51–58/B1(+): Reading

- 51 一般的なトピックに関することならば事実と意見を区別できる。(P)
 テキストに一貫性をもたせる簡単な方法として、同じ考えが直接くり返されていることを認識できる。(P)
 手紙、電子メール、オンライン投稿などに含まれる、出来事、感情、希望などの詳しい情報を、概ね理解できる。(CA)
 短い記事の中で提供される情報に基づいて、簡単な推測を行うことができる。(P)
- 52 フォーマルな構成のしっかりしたテキストにおいて、時系列の順序についていくことができる。(P)
- 54 例と、それが支持する考えとの関係を認識できる。(P)
- 55 テキストに含まれる情報に基づき、意味を推測できる。(P)
 製品や機器の問題を解決するための手引きや説明書を読んで理解できる。(P)
- 56なじみのあるトピックに関する簡単な新聞記事であれば、重要なポイントや論点を認識できる。(CA)
- 57 すべての詳細を必ずしも理解できるわけではないが、論説文の議論のおおまかな流れを読んで認識できる。(CA)
 ある程度長いテキストや記事における主要な情報を特定できる。(P)
 構成がはっきりとしたテキストで、因果関係を理解できる。(P)
- 58 構成がはっきりとしたテキストで、書き手の見解を認識できる。(P)
 興味のある分野に関係する書簡のやり取りの大部分を理解できる。(CA)
 構成がはっきりとしたテキストで、問題と解決策の関係を理解できる。(P)

GSE 59–66/B2: Reading

- 59 オンラインで金銭取引を行うための指示を理解できる。(P)
 二カ国語辞書を参照せずに、一カ国語辞書で単語の意味を調べることができる。(P)
 はっきりと分かる方法で議論を提示および対比している文章の、主要な結論を特定できる。(CA)
- 60 新聞や雑誌の記事の見出し、タイトル、ヘッドラインから、記事の内容を推測または予想することができる。(P)
- 61 テキスト内の要点と、それを支持する詳細な情報を区別できる。(P)
 ウェブサイトの議論用掲示板でのやり取りを理解できる。(P)
- 62 複雑な図表や視覚的情報が伝える主要なメッセージを解釈できる。(P)
 標準的な非文語体で書かれた、長い物語の筋を理解できる。(CJA)
 著者の目的や対象としている読者を理解できる。(P)
 質問によって導かれれば、簡単なテキストの中に著者の皮肉が込められていることを認識できる。(P)
- 63 関連する情報源の検索方法の指導があれば、参考資料を使用して事実確認ができる。(P)
 長いテキストまたは関連する複数のテキストにざっと目を通して、特定の情報を探することができる。
 * (CA)
- 65 構成がはっきりとしたテキストの論調や読者対象を識別できる。(P)
- 66 幅広い分野の情報散文および創作散文について、要約、コメント、議論を行うことができる。(CA)

GSE 67–75/B2(+): Reading

- 67 置き換えや言い換えなどでくり返し表現された書き手の考えを認識できる。(P)
長いテキストにおける複数の見解の相違点や類似点を理解できる。(CJA)
- 68 構成がはっきりしていない文章で、文脈、文法、語彙を手がかりとして、次の展開を推測できる。(P)
自分の専門分野に関する長く複雑な説明書を、必要に応じて読み返しながらか、詳細な情報を理解できる。(CA)
作業指示書、なじみのある製品やサービスの仕様書などから、複雑で技術的な情報を読んで理解することができる。(C)
構成がはっきりとした複数の事例・論点を組み合わせたテキストにおける、複数の対照的な議論を読み取ることができる。(P)
- 69 長く複雑なテキストに素早くざっと目を通して、重要な情報を見つけ出すことができる。(P)
さまざまな参考資料を使用して、素早く効率的に事実確認ができる。(P)
さまざまな情報源からの情報を統合して、書面または口頭でまとめることができる。(P)
- 70 ときどき辞書を引きながら、複雑で詳細な往復書簡[通信文]を理解できる。(CA)
構成がはっきりとしたフォーマルなテキストにおいて、推論されている意味を理解できる。(P)
- 71 意見を引き出すように作成されたアンケートにおいて、複雑な質問を理解できる。(P)
複雑でフォーマルな文脈において事実と意見を区別できる。(P)
- 73 言語的に複雑な、事実に関するテキストにおいて、具体的な情報を特定できる。(P)
テキストに著者の皮肉が込められていることを認識できる。(P)
- 74 テキストにおいて、単語に意図的に込められている二重の意味を読み取ることができる。(P)
自分の専門分野外における専門的記事や技術的文章の要点をつかむことができる。(CJA)

GSE 76–84/C1: Reading

- 76 慣用語や非標準的な言葉を含む書簡のやり取りを理解できる。(CA)
- 78 自分の専門分野における高度に専門的な情報源から、情報、考え、意見を抜き出すことができる。(CA)
広告や新聞の見出しに含まれる語呂合わせ、隠喩、ジョークなどを理解できる。(P)
- 79 新聞記事における複雑な議論を理解できる。(P)
- 80 自分の専門分野における長く複雑なテキストを、読み直しせずに、詳細に理解できる。(CA)

GSE 85–90/C2: Reading

- 87 複雑な構文を使用した、文の構成がはっきりとしないテキストにおいて、非常に口語的な表現を理解できる。(P)
長く、言語的に複雑な、事実に基づく文語体のテキストを、文体の違いを味わいながら理解できる。(CJA)

Listening

GSE 10–21/Below A1: Listening

- 10 アルファベットの文字を理解できる。(P)
 ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、日常生活で使われるいくつかのなじみのある単語を識別できる。(CJA)
 1から20までの基数を理解できる。(P)
 フォーマルでない簡単な挨拶を認識できる。(P)
- 11 発音された英語のアルファベットの文字を識別できる。(CJA)
- 13 フォーマルな簡単な挨拶を識別できる。(P)
- 16 非常に基本的かつ一般的な授業中の指示を理解できる。(P)
- 18 1時間単位で表された時刻を理解できる。(P)
- 19 21から100までの基数を理解できる。(P)
- 20 1から100までの序数を理解できる。(P)
 価格や数量に関する簡単な語句を理解できる。(P)
- 21 ゆっくり、はっきりと話されれば、個人についての詳細情報に関する基礎的な質問を理解できる。(P)
 相手に配慮してゆっくり話されれば、個人についての基礎的な詳細情報を理解できる。(P)

GSE 22–29/A1: Listening

- 23 相手に配慮してゆっくりなされた、手短で簡単な指示であれば理解できる。(CA)
 相手に配慮してゆっくりされた質問であれば相手を理解できる。(CA)
 電話での短く簡単な会話から、相手の名前と電話番号を特定できる。(P)
 ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、短く簡単な対話から、人や場所の名前を抜き出すことができる。(P)
 5分以下の単位で表された時刻を理解できる。(P)
 15分単位で表された時刻を理解できる。(P)
- 24 写真に写っているものや身近にあるものについての基礎的な質問を理解できる。(P)
 'can' と 'can't' の違いを区別できる。(P)
 自分以外の人の好きなものや嫌いなものについての基礎的な質問を理解できる。(P)
- 25 101から1000までの基数を理解できる。(P)
 長い間を取りながら、非常にゆっくりと注意深く発音されれば、スピーチについていくことができる。(CA)
 自分以外の人の好きなものや嫌いなものについての基礎的な情報を理解できる。(P)
- 26 Can understand basic factual statements. (P)
 Can identify a caller's name and phone number from a short, simple telephone conversation. (P)
 Can understand simple spoken commands in a game or sport. (P)

- 27 余暇の活動についての基礎的な質問を理解できる。(P)
録音された電話メッセージを聞いて、電話番号を理解できる。(P)
余暇の活動についての基礎的な情報を理解できる。(P)
- 29 ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、日常生活における簡単な商取引(買い物や外食など)を理解できる。(CJA)

GSE 30–35/A2: Listening

- 30 個人や家族の基礎的な情報に関連したフレーズや内容語を認識できる。(CA)
はっきりと話される短く簡単な発表を聞いて、価格、時刻、日付など、事実に関する重要な情報を抜き出すことができる。(P)
簡単な言葉で表された言い訳を理解できる。(P)
- 31 なじみのあるトピック(買い物、地元の地理など)に関連したフレーズや内容語を認識できる。(C)
- 32 人の日常の習慣に関連した情報を理解できる。(P)
- 33 短く簡単な社会的な交流についていくことができる。(P)
ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、簡単な日常会話を理解できる。(CA)
- 35 誰にかかってきた電話なのかを理解できる。(P)
録音された留守電のメッセージを聞いて、価格、時刻、日付など、事実に関する重要な情報を抜き出すことができる。(P)

GSE 36–42/A2(+): Listening

- 36 ゆっくりした速度ではっきりと話される会話において、話者同士の意見が一致していないことを認識できる。(P)
ゆっくりした速度ではっきりと話される会話において、話者同士の意見が一致していることを認識できる。(P)
- 37 ゆっくりした速度ではっきりと話される直接的な要求を十分理解して、それに返答できる。(CA)
ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、短く簡単な物語の要点をつかむことができる。(P)
短く簡単な対話や物語において、出来事の流れを理解できる。(P)
- 38 なじみのあるトピックに関する標準的なスピーチを理解し、ある程度くり返したり再構成したりできる。(CA)
- 39 録音された簡単な対話や物語における重要な詳細を特定できる。(P)
ホテル、レストラン、および交通手段の予約における重要な詳細を理解できる。(P)
ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、議論のトピックとなっている身近なものを、おおまかに特定できる。(C)
- 40 あまり苦勞せずに簡単な習慣的やりとりをこなせる程度には相手のことが理解できる。(C)
- 41 なじみのある短い文脈であれば、簡単な未知語の想定し得る意味を引き出すことができる。(P)
- 42 基礎的な医学的アドバイスを理解できる。(P)

GSE 43–50/B1: Listening

- 43 視覚的な補助と共に標準的な速度で話される指示を理解できる。(P)
 短い物語を聞いて、次の展開を予想できる。(N2000)
 録音された物語や対話における簡単な時系列の順序を特定できる。(P)
- 44 特定の単語やフレーズのくり返しを含んだ日常会話を理解できる。(P)
 ゆっくりした速度ではっきりと話される会話において、話し手が聞き手の理解を確認していることを認識できる。(P)
- 45 はっきりと話された標準的なスピーチであれば、なじみのあるトピックに関する短い対話の要点を理解できる。(CA)
 話者がはっきりとした発音でイディオムを使用せずに話す場合なら、なじみのあるトピックについての話を理解できる。(CA)
 プレゼンテーションから、日付、数字、数量など、事実に関する重要な情報を抜き出すことができる。(P)
- 46なじみのあるトピックに関する電話での対話から、事実に関する重要な情報を抜き出すことができる。(P)
 標準的なスピーチであれば、身の回りでのある程度長い議論の要点を理解できる。(CA)
- 47 はっきりと話された標準的なスピーチであれば、なじみのあるトピック(仕事、余暇など)に関する物語や会話の要点を理解できる。(CA)
- 48 ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、なじみのない文化的慣行や習慣に関する説明の要点をつかむことができる。(CJA)
 簡単なポッドキャストの要点を理解できる。(P)
- 49 話者が非常に慣用的な表現を使用しなければ、日常会話のほとんどを理解できる。(CA)
 ゆっくりした速度ではっきりと話されれば、自分の専門分野に関連した議論において、トピックの変化に概ねついていくことができる。(CA)
 短いフォーマルな話の直線的構造を理解できる。(P)
 日常的な器具についての簡単な技術的指示を理解できる。(CA)
 解説に視覚的な助けがあれば、出来事や事故などを報告するテレビのニュース項目の要点を特定できる。(C)
- 50 話者の感情や態度を認識できる。(P)

GSE 51–58/B1(+): Listening

- 51 はっきりと話された標準的なスピーチであれば、なじみのあるトピックに関するテレビ番組の要点を理解できる。(CA)
 なじみのある標準的なテキストであれば、主要な考えと、それを支える詳細情報を区別できる。(P)
 ラジオで流れる天気予報のほとんどを理解できる。(CSEA)
 電話サービスで流れる録音済みの指示や情報を理解できる。(P)
 日常的でなじみのあるトピックに関する会話で、話者の意見を推測できる。(P)
 一般的なトピックに関する日常会話やフォーマルでないインタビューを理解できる。(P)
- 52 映像やアクションから話の筋が大体分かる映画を、数多く理解できる。(CA)
 意味が完全には理解できなくとも、ジョークが言われたことを認識できる。(P)
- 53 Can follow detailed directions. (C)
 Can recognise repetition of the same topic in extended presentations or lectures. (Wa)

- 54 公式および非公式のさまざまな言い訳を理解できる。(P)
- 55 製品または機器の故障を解決するための助言や指示を理解できる。(P)
例と、それが支持する考えとの関係を識別できる。(P)
- 57 より長い、構成のあるテキストの文脈から、パッセージの一般的な意味を推測できる。(P)
くり返しや説明が必要な場合もあるが、速いペースで話されるある程度長いスピーチを概ね理解できる。(CA)
自分の専門分野に関してであれば、明確な構成のあるプレゼンテーションの大部分を理解できる。(CA)
議論されているトピックがなじみのあるものであれば、未知語の意味を文脈から抜き出すことができる。(CA)
会話の中で、話者が基礎的な修辭疑問文を使用したことを識別できる。(P)
簡単な内容であれば、幅広い主題に関する授業や研修コースについていくことができる。(CSEA)
- 58 なじみのあるトピックに関する多くのテレビ番組の大部分を理解できる。(CA)
非公式の会話における問題と解決策の関係を理解できる。(P)
はっきりと促されなくても、誤解を認識できる。(P)

GSE 59–66/B2: Listening

- 59 はっきりと話された標準的なスピーチであれば、議論で話されている意見や考えに賛成または反対する主要な理由を特定できる。(P)
- 60 公式の議論において、話者が懸念を表明していることを認識できる。(P)
なじみのあるトピックであれば、ラジオ番組の大部分を理解できる。(CA)
非公式の長いスピーチにおいて、関係のある内容と関係のない内容を区別できる。(P)
- 61 事実に基づくテレビニュースにおいてトピックの変化を理解し、主要な内容について解釈することができる。(C)
なじみのあるアクセントであれば、速いペースで話される、原稿を読み上げるスピーチを理解できる。(CA)
専門的でない言葉で説明されている複雑なプロセスの段階を理解できる。(P)
なじみのないトピックに関する、構成のあるプレゼンテーションにおいて、例が提示されていることを認識できる。(P)
- 62 一般的なグループ議論を理解できるが、それに効果的に参加することは難しいと感じる。(CA)
詳細な説明を十分理解し、間違いを犯すことなくその説明に従うことができる。(C)
- 63 構成がしっかりしたプレゼンテーションにおいて、話者の意見を認識できる。(P)
- 64 なじみのあるアクセントであれば、速いペースで話される原稿なしのスピーチを理解できる。(CA)
誇張の使用を認識できる(「数年かかってでもこれは片づかない」など)。(P)
標準的なスピーチで話されるテレビのドキュメンタリー番組、インタビュー、演劇、およびほとんどの映画を理解できる。(CA)
テキスト構成上の手がかりを用いて、要点を理解し、理解を確認することができる。(CA)
議論において、さまざまな選択肢の利点や欠点を理解できる。(P)

- 65 一般的な聴衆向けのラジオ番組のほとんどを理解できる。(P)
- 自然な速度で、標準的な言葉で話されれば、ほとんどのトピックに関する話者の意見を理解できる。(CJA)
- 意見、主張、議論などが提示されている新しい事項から、要点を抜き出すことができる。(CA)
- 自然な速度で話される、ある程度長い非公式のスピーチにおいて、時系列を理解できる。(P)
- 自然な速度で話される非公式の会話で、因果関係を理解できる。(P)
- 66 自分の専門分野における複雑な専門的議論の主旨を理解できる。(CA)
- 公式なプレゼンテーションの調子と、対象となっている聴衆を識別できる。(P)
- 自然な速度で話される非公式の議論において、事実と意見を区別できる。(P)

GSE 67–75/B2(+): Listening

- 69 駅やスポーツスタジアムなどでの音質の良くない公共放送を聞いて、特定の詳細な情報を抜き出すことができる。(N2000A)
- ある程度長い議論を支えるデータまたは調査結果の要約を理解できる。(P)
- 70 幅広い分野の事実に基づくテキストや独創的なテキストを理解し、テーマや意見をまとめることができる。(CA)
- 71 くだけた会話において、何かが皮肉を込めて述べられていることを理解できる。(N2007A)
- 修辭疑問文を使用して言外の仮定が示されていることを認識できる。(P)
- 非公式な議論において、修辭疑問文と本物の疑問文を区別できる。(P)
- 文脈、文法、語彙などから得られる手がかりを使用して、議論における姿勢や雰囲気を推測できる。(CA)
- 複雑な議論において、置き換えや言い換えを通じて考えがくり返し述べられていることを認識できる。(P)
- 自分の専門分野における複雑で抽象的なプレゼンテーションの要点を理解できる。(CA)
- 自然な速度で話される言語学的に複雑な会話において、重要な情報を特定できる。(P)
- 72 詳細な医学的アドバイスを理解できる。(P)
- 話者の言いたいことを強調するための皮肉の使用を理解できる。(P)
- ほとんどのテレビニュースと時事番組を理解できる。(C)
- 複雑な学術的/職業的プレゼンテーションの要点を理解できる。(CA)
- 73 しっかりと構成されていない考えや考えを表現した、ある程度長いスピーチについていくことができる。(P)
- 74 2名の流暢な話者の間で交わされる生き生きとした会話についていくことができる。(CA)
- 詳細確認の質問を行える場合なら、自分の専門分野外の抽象的で複雑なトピックに関するある程度長いスピーチについていくことができる。(CA)

GSE 76–84/C1: Listening

-
- 76 複数名の流暢な話者の中で交わされるペースの速い会話を十分理解し、自分も会話に入っていくことができる。(CA)
-
- 77 なじみのないトピックに関する複雑な議論に、テキストに一貫性を持たせる方法を認識し、ついていくことができる。(P)
-
- 78 ジョークの中で使用される単語がもつ、意図的な二重の意味を理解できる。(P)
複雑な言葉を用いたポッドキャストの大部分を理解できる。(P)
-
- 79 興味がある分野以外の抽象的で複雑なトピックに関するプレゼンテーションを理解できる。(P)
-
- 80 スラングや慣用表現を多量に含む映画を理解できる。(C)
-
- 83 政治、環境、社会など幅広い問題に関する、ある程度長い、複雑な言葉を用いたスピーチを、詳細に理解できる。(P)
使用域の変化を理解し、幅広い慣用表現や口語表現を識別できる。(N2000)
-

GSE 85–90/C2: Listening

-
- 86 幅広い問題に関する、ある程度長い、複雑な言葉を用いた、職業的および専門的プレゼンテーションを詳細に理解できる。(N2000A)
-
- 88 さまざまなアクセントや方言を話す複数名の話者の間で行われる、抽象的で複雑なトピックに関する議論を詳細に理解できる。(CA)
-

Speaking

GSE 10–21/Below A1: Speaking

10	他者に名前を尋ねることができる。(P) 自分の名前を言える。(P)
11	アルファベットの文字を言える。(P) 指差しや、その他のジェスチャーによって、簡単な買い物を行うことができる。(N2000A)
12	日常生活にある非常にありふれた物の名前をいくつか挙げられる。(P) 自分の国、国籍、言語の名称を識別し、言うことができる。(P) いくつかの基礎的な定型表現を使用して、人に挨拶できる。(P)
13	他者に国籍を尋ねることができる。(P) 電話番号を読み上げることができる。(P)
14	自分の氏名および住所を書くことができる。(P)
15	他の人の国籍を言うことができる。(P)
16	基礎的な定型表現を使用して、非常に限定的な個人情報を提供できる。(CJA) 'What's this/that?' という構文を使用して、情報を求める基礎的な要求を行ったり、それに答えたりできる。(P) 一般的な仕事の名称をいくつか挙げるができる。(P) 時刻を1時間単位で説明できる。(P)
17	非常に基礎的な単語を使用して、食べ物や飲み物を頼むことができる。(P) 非常に一般的な交通手段の名称を挙げるができる。(P) 電話番号を尋ねたり、教えたりできる。(P)
18	自分の年齢を言ったり、相手の年齢を尋ねたりできる。(P)
19	相手に何の仕事をしているか尋ねることができる。(P) 簡単に丁寧な出会いの挨拶および別れの挨拶によって、基礎的な社会的接触を行うことができる。(CA) 曜日と日付を尋ねたり、教えたりできる。(N2000A) 自分がしていること（仕事の名前、学生など）を言うことができる。(P) 何かの価格を尋ねることができる。(P)
20	幅広い基礎的な数、量、価格を言うことができる。(CA) 誕生日を尋ねたり、教えたりできる。(P) 限られた言い方で、他の人がどこにいるか尋ねることができる。(P)
21	分からないときに、非常に簡潔な言葉でくり返しを求めることができる。(C) 限られた言い方で、自分の持ち物に関する簡単な質問を尋ねたり、答えたりできる。(CA)

GSE 22–29/A1: Speaking

- 22 限られた言い方で、自分および他の人がどこにいるかを言うことができる。(P)
 限られた言い方で、家族や友人に関する基礎的な質問を尋ねたり、答えたりできる。(P)
 住んでいる場所や家族についての情報を含め、基礎的なやり方で自己紹介ができる。(CSEA)
 単語のスペルを読み上げてくれるように、あるいは単語を書いて教えてくれるよう求めることができる。(P)
 5分以下の単位で表された時刻を説明できる。(P)
- 23 物の価格について、基礎的な情報を与えることができる。(P)
 基礎的なやり方で、物の位置を説明できる。(P)
- 24 限られた言い方で、飲み物や食べ物を頼むことができる。(P)
 人に挨拶し、相手の調子を尋ね、相手が話す新しい話題に反応することができる。(CA)
 基礎的な定型表現を使用して、公共交通機関のチケットを購入できる。(N2000A)
 15分単位で表された時刻を説明できる。(P)
- 25 'next week'、'last Friday'、'in November'、'three o'clock'などのフレーズを使用して、時期を示すことができる。(C)
 自宅に関する非常に基礎的な情報を求めたり、与えたりできる。(P)
 至急のニーズがある分野、または非常になじみのあるトピックに関して、簡単な質問を尋ねたり、答えたりできる。(CA)
 はっきりと発声された単語、フレーズ、短い文を、正確に復唱できる。(P)
- 26なじみのある短い定型表現を、相手が理解できるように読み上げることができる。(P)
 自分が住んでいる場所を説明できる。(CA)
 いくつかの基礎的な定型表現を使用して、ホテルにチェックインできる。(P)
 基礎的なやり方で、自分自身、趣味、興味などについて自己紹介できる。(CJA)
- 27 'can'や'can't'を使用して、基礎的な活動に関する能力の有無を表現できる。(P)
 基礎的な定型表現を使用して、申し出を受けることができる。(P)
- 28 個人についての詳細な情報のやり取りができる(住んでいる場所、持っている物など)。(CA)
 限られた言い方で、人や物の位置についての簡単な質問に答えられる。(P)
 自己紹介、基礎的な挨拶、立ち去る際の表現ができる。(C)
 人に物を求めたり、物を与えたりできる。(C)
 簡単な語句を使用して、ある個人の好きな物や嫌いなものを説明できる。(P)
 非常に基礎的な定型表現を使用して、自分自身の気分を表現できる。(P)
 基礎的な定型表現を使用して、食べ物や飲み物の好みを述べることができる。(P)
 基礎的な単語を使用して、一般的な天気の状態を説明できる。(P)
 限られた言い方で、自分が知っている人についての簡単な質問を行ったり、それに答えたりできる。(CA)
 簡潔で日常的な表現を使用して、欲しいものや必要なものを説明し、情報を求めることができる。(CA)

- 29 簡単な語句を使用して物を説明できる。(P)
 注意を引くことができる。(C)
 地図や旅程表を示しながら、簡単な道案内を求めることができる。(P)

GSE 30–35/A2: Speaking

- 30 時期を示す簡単な語句 ('tomorrow' など) を使用して、基礎的な意図を表現できる。(P)
 非常になじみのあるトピックに関してであれば簡単な叙述文を話したり、これに応答したりできる。(CA)
 簡単な語句を使用して、ホテルでの宿泊について話すことができる。(P)
 基礎的な定型表現を使用して、至急のニーズに関連した要求を行える。(P)
 ある程度の語彙の助けがあれば、自分の家、家族、仕事について手短かに説明できる。(P)
 理解できないときに、基礎的な定型表現を使用して、くり返しや説明を求めることができる。(P)
 買い物時に、色、サイズ、価格などの基礎的な質問を尋ねることができる。(CSEA)
 基礎的な定型表現を使用して、物を貸してほしいと頼むことができる。(P)
 簡単な語句を使用して、自分の趣味や取り組んでいる活動を説明できる。(P)
 基礎的なフォーマルではない定型表現を使用して、家族や友人への短い電話を終わらせることができる。(P)
- 31 簡単な語句を使用して、家具や部屋について話すことができる。(P)
 限られた範囲の表現を用いて、他者が身に着けているものを説明できる。(P)
 簡単な語句を使用して、他者に趣味や取り組んでいる活動について質問できる。(P)
 主題に関する簡単な質問を行うことができる。(P)
 基礎的な定型表現を使用して、簡単な招待を行うことができる。(P)
 欲しいものを伝え、価格を尋ねることを通じて、簡単な買い物ができる。(C)
 簡単なフレーズを使用して、物を要求したり提供したりできる。(CA)
 簡単なフレーズを使用して食事を注文できる。(CA)
 基礎的なやり方で、日常のこと (人、場所、仕事、勉強など) について話すことができる。(CA)
 簡単な謝罪を行ったり、それを受け入れたりできる。(P)
 授業において簡単な指示を出すことができる。(P)
- 32 基礎的な定型表現を使用して、申し出を行うことができる。(P)
 X地点からY地点へ、徒歩または公共交通機関を使用して行くための、簡単な道案内を求めることができる。(P)
 短い日常的な表現を使用して、個人についての詳細な情報を尋ねたり提供したりできる。(CA)
 基礎的なやり方で量を比較できる。(P)
 基礎的な定型表現を使用して、短い会話を始めたり終わらせたりできる。(CA)
 日常の一般的な商取引 (チケットを買うなど) を行える。(CA)
 地図や旅程表を示しながら、簡単な道案内を行うことができる。(P)
 自分の学校や職場について簡単に説明できる。(CSEA)

- 33 3店、郵便局、銀行で、簡単な商取引ができる。(CA)
- 簡単な語句を使用して、スキルや能力を説明できる。(P)
- 視覚的な助けがあれば、なじみのある活動について説明できる。(P)
- 基礎的な定型表現を使用して、申し出を断ることができる。(P)
- 簡単な語句を使用して、自分の故郷や住む町について説明できる。(P)
- 'was/were' を使用して、過去のことに簡単に言及できる。(P)
- 基礎的な定型表現を使用して、言い訳を言うことができる。(P)
- 家族、生活状態、教育、現在または最近の仕事について説明できる。(C)
- 電話で自己紹介をし、簡単な通話を終わらせることができる。(P)
- 簡単な語句 ('first', 'second', 'third' など) を使用して、物事を順序立てることができる。(P)
- 話をしている間に発生する基礎的な活動や出来事を説明できる。(P)
- 34 限られた範囲の定型表現を使用して、理解を示すことができる。(P)
- 簡単な語句を使用して人々の外見を描写できる。(N2000)
- 他者に特定のポイントや考えをくり返してもらえるよう求めることができる。(P)
- 自分の好きなものや嫌いなものについて言うことができる。(C)
- 対面式の調査で簡単な質問に答えることができる。(P)
- 相手がゆっくりした速度ではっきりと話し、助けを出そうという配慮がある場合なら、日常的なトピック
- についての簡単な情報交換ができる。(CA)
- 短く簡単な一連のフレーズや文を使用して、人の日常生活を説明できる。(CA)
- X地点からY地点へ徒歩または公共交通機関を利用して行くための簡単な道案内ができる。(P)
- 簡単な語句を使用して、基礎的な助言を求めることができる。(P)
- 定型表現を使用して、電話での簡単な質問に答えることができる。(P)
- 対面式の調査で簡単な質問をすることができる。(P)
- 基礎的な定型表現を使用して、簡単な意見を述べることができる。(P)
- 基礎的な定型表現を使用して、物を貸すことに同意したり、断ることができる。(P)
- 35 仕事で何をしているか、また休みのときには何をしているかについて、質問したり、質問に答えたりできる。(C)
- いくつかの非常に基礎的な決まり文句を使用して、旅行体験を説明できる。(P)
- 日常的な物品やサービスを求めたり提供したりできる。(C)
- 限られた範囲の定型表現を使用して、物、所有物、製品などについて説明できる。(P)
- 簡単なやり方で、電話でくり返しや説明を求めることができる。(P)

GSE 36–42/A2(+): Speaking

- 36 非常に基礎的な症状や病気（風邪、インフルエンザなど）について、質問したり話したりできる。(P)
 申し出を行ったり、申し出を受けたりできる。(N2000)
 簡単に日常的な、丁寧な形の挨拶や呼びかけができる。(C)
 どこへ行って何をするかについて話し合い、会う約束をすることができる。(C)
 直接的で簡単な情報交換を必要とする日常業務において、コミュニケーションを取ることができる。(CA)
 定型表現を使用して、簡単な留守電のメッセージを残すことができる。(P)
- 37 簡単な語句を使用して、自分の所有物と他者の所有物を比較できる。(CA)
 基礎的な定型表現を使用して、あるものが何のために使用されるものであるかを説明できる。(P)
 インタビューにおいて、簡単な質問に答えたり、簡単な叙述文に返答したりできる。(C)
 時刻と場所に関する情報を含めた招待を行うことができる。(P)
 手本を示されれば、基礎的な課題を解決するための簡単な指示を行うことができる。(P)
 一般的な形容詞を使用して、2人の人または2つの物の間で、簡単な直接比較を行うことができる。(P)
 定型表現を使用して、ほめ言葉を言うことができる。(P)
- 38 電話でホテル、レストラン、交通機関の予約ができる。(P)
 事前練習した上で、短い叙述文を読み上げることができる（話者を紹介する、乾杯の音頭を取るなど）。(CA)
 日常的なトピック（人、場所、経験など）について、長い説明を行うことができる。(N2000A)
 簡単なつなぎ語（'then'、'next' など）を使用して、過去の非常に基礎的な出来事を説明できる。(P)
 基礎的な計画や意図についての質問を行ったり、質問に答えたりできる。(P)
 癖や日常習慣を説明できる。(CA)
 事実に関する簡単な情報を交換しながら、日常の実際的な要求に対応できる。(CA)
 簡単な用語で自分の感情を表現できる。(CA)
 定型表現を使用して、簡単な留守電のメッセージを受け取ることができる。(P)
 癖や日常習慣について質問をしたり、答えたりできる。(C)
- 39 簡単に限定的な顔を合わせての会話を、開始し、継続し、終わらせることができる。(N2000)
 簡単な定型表現を使用して、人を励ますことができる（'You can do it!' など）。(P)
 簡単な語句を使用して、人の性格や感情を描写できる。(P)
 計画や準備を説明できる。(CA)
 特に専門化されていない普通の旅行代理店で話して情報を集めることができる。(CA)
 簡単な語句を使用して、基礎的な助言を与えることができる。(P)

- 40 なじみのあるトピックに関してであれば、事前に練習した上で短い発表ができる。(CA)
限られた言い方で、熱意や興奮を表現できる。(P)
晩や週末に何をするか話し合うことができる。(C)
あるものに関して、自分が好きな点と嫌いな点を説明できる。(C)
許可を求めたり、与えたり、与えるのを断ることができる。(N2000)
過去の時刻や、過去の活動について、質問を尋ねたり、答えたりできる。(C)
日常のプロセス(レシピなど)を実行する方法について簡単な説明ができる。(P)
物語を伝えたり、簡単な要点のリストにあるものを説明したりできる。(C)
定型表現を使用して、理解できないキーワードについて相手に説明を求めることができる。(CA)
基礎的な定型表現を使用して、言い訳に答えることができる。(P)
- 41 興味のあるトピックについて、習慣的な文脈の短い会話に参加できる。(C)
提案を行ったり、提案に応答したりできる。(C)
簡単なフレーズを使用して、次に行うべきことを議論できる。(CA)
家で飼っているペットなど、個人的な所有物について話すことができる。(N2000A)
定型表現を使用して、会話への興味を示すことができる。(P)
ホテルやレストラン、交通機関の予約を、電話でキャンセルできる。(P)
- 42 なんらかの基礎的な間投詞を用いて、理解、驚き、失望、興奮などを表現できる。(P)
出来事や活動について、短く簡単な説明を行うことができる。(C)
電話でアポイントメントを取ることができる。(P)
将来に対する簡単な予想を行うことができる。(P)
ダイアリーやスケジュール表を参照しながら、将来に向けた簡単な調整や計画を行うことができる。(P)
簡単な語句を使用して、残念な気持ちを表現できる。(P)

GSE 43–50/B1: Speaking

- 43 なじみのあるトピックに関してであれば、事実に基づく簡単な叙述文を言い換えることができる。(P)
定型表現を使用して、将来の計画や意図を説明できる。(P)
- 44 買い物時に何を探しているかを説明できる。(CSEA)
細かな道案内を求めたり、それを理解したり、与えたりできる。(CA)
定型表現('I see.', 'Right.'など)を使用して、会話の進行を維持することができる。(CSEA)
元の言い回しや順序を使用して、文字で書かれた短いパッセージを要約することができる。(CA)
視覚的な助けを使用しながら、なじみのあるトピックについての短い話を行うことができる。(P)
定型表現を使用して、良いニュースや悪いニュースに適切に反応できる。(P)

- 45 事前に準備した、構成がはっきりとしたインタビューを実行し、その後、いくつかの即興的な質問を尋ねることができる。(CA)
- 物語を語ることができる。(C)
- どのぐらいの頻度で仕事に関する課題を完了すべきか説明できる。(P)
- 簡単な語句を使用して、なじみのあるゲームやスポーツのルールを説明できる。(P)
- 関連する簡単な情報を、最も重要なポイントを強調しながら伝達できる。(CA)
- 手短かに言い訳や理由を述べて、謝罪を行うことができる。(P)
- 簡単な語句を使用して、意見を述べることができる。(P)
- 身近な関連のある簡単な情報を伝達し、要点を強調することができる。(CA)
- 公共交通機関で、あまり習慣的でない状況に対応できる(どこで降りるか尋ねるなど)。(N2000A)
- 電話で、ホテル、レストラン、公共交通機関の予約の変更を求めることができる。(P)
- 申し出や提案に対し、熱意を示しながら応答できる。(P)
- 簡単な語句を使用して、単語やフレーズの意味を説明できる。(P)
- 簡単な語句を使用して、手短かに理由や説明を述べることができる。(P)
- くり返しを要求できる状況なら、直接質問されたときに意見を言うことができる。(CA)
- 簡単に適切な語句を使用して、電話で情報が理解されたことを確認できる。(P)
- 旅行の準備をしているとき、または旅行中に遭遇する一般的な状況に対応できる。(CA)
- 手短かに意見の一致および不一致を、丁寧に表現できる。(C)
- 46 興味のあるトピックに関する議論において、個人的な見解や意見を述べたり求めたりできる。(C)
- 電話で配達時間の調整ができる。(P)
- 電話でイベントのチケットを購入できる。(P)
- 食べ物や飲み物の好みを詳しく述べる。(P)
- 次に何をすべきかについて、他者に意見を述べるよう促すことができる。(C)
- なじみのあるトピックに関する対面式の簡単な会話を、開始、継続し、終わらせることができる。(CA)
- 47 現実であれ想像であれ、出来事を説明できる。(C)
- なじみのあるさまざまなトピックについて、簡単な説明を行うことができる。(CA)
- 習慣的な状況において、一般的な慣用フレーズのレパートリーを使い始めることができる。(CA)
- 簡単な語句を使用して、態度を示すことができる。(P)
- 事前の準備なしで、なじみのあるトピック(家族、趣味、仕事など)に関する会話に入っていくことができる
- 48 夢、希望、野心を説明できる。(C)
- 会話のトピックを現在完了形で導入し、過去の詳細な情報を提供できる。(P)
- 改まった言葉遣いを用いて、招待を行うことができる。(P)
- 49 ゆっくりした速度ではっきりと話される会話であれば、日常の実際的な問題について議論できる。(CA)
- 簡単なやり方で、言葉による挑発や攻撃に対応できる。(P)
- 自分が経験したことを、感情や対応の説明を交えながら、詳しく説明できる。(C)

- 50 定型表現を使用して、簡単な用語で、映画や本、演劇について議論できる。(P)
- 簡単な非公式のインタビューを行うことができる。(P)
- 相手がたった今言ったことについて、説明または詳しく述べるよう求めることができる。(C)
- 運転手に細かな道順を教えることができる。(P)
- なじみのあるトピックに関する意見を正当化するための、簡単な理由を述べることができる。(P)
- インタビューにおいて、ある程度は自分が主導的に話を進められるが、ほとんどはインタビュアーに大きく依存している。(CA)
- 本や映画の話の筋に自身を関連付けて、自分の反応を描写できる。(C)
- 価格を交渉して、割引を求めることができる。(P)

GSE 51–58/B1(+): Speaking

- 51 簡単な語句を使用して、他者の意見を説明できる。(P)
- 意見や計画、行動などに関して、理由や説明を手短かに述べるができる。(C)
- 自分の感情（驚き、喜び、興味、無関心など）を表現したり、他者の感情に対応したりできる。(C)
- 可能な解決策について、手短かに理由や説明を加えながら意見を述べるができる。(CA)
- どこに行くか、何をするかなどの実際的な提案に関して、自分の意見を述べたり、他者の意見に応答したりできる。(CA)
- 苦情を言うことができる。(C)
- さまざまな定型表現を使用して、将来に対する希望を表現できる。(CJA)
- 52 さまざまな基礎的表現や文を使用して、意見や姿勢を表現できる。(CA)
- 一般的な用語を使用して、環境問題について話すことができる。(P)
- 相手が述べたことを復唱して理解を確認し、議論の筋道を維持できる。(CA)
- 他者を議論に招き入れるための適切なフレーズを使用することができる。(CA)
- なじみのあるトピックに関するニュースの主要な箇所について議論できる。(CJA)
- 53 議論を続けるための会話戦略の基礎的なレパートリーを使用できる。(CA)
- 何をするか、どこに行くかなどについての複数の代替案を比較対照できる。(CA)
- 会話を終わらせたいと思っていることを、それとなく示すことができる。(P)
- 名前が思い出せないある具体的な物の特徴を言い表わすことができる。(C)
- 特定のポイントまたは考えを言い換えてもらえるよう、人に頼むことができる。(P)
- 一般的な定型表現を使用して、議論を発展させることができる。(P)
- 事前に練習した上で、なじみのあるトピックに関する短いトークやプレゼンテーションを行うことができる。(CA)
- なじみのある話を、自分自身の言葉を使用して、伝え直すことができる。(P)
- 54 丁寧な言い方の範囲内で、言い訳を言うことができる。(P)
- 医者に基礎的な症状を説明できるが、正確性は限られている。(CA)
- 自分が行ったプレゼンテーションに関する簡単な事実に基づく質問に答えることができる。(P)
- 予測不能な出来事（事故など）の基礎的な情報を説明できる。(CA)
- 詳細な情報を含む留守電のメッセージを残すことができる。(P)

- 55 非公式の議論において、考えや提案に対応できる。(CA)
 定型表現を使用して、公式の会話の最中に丁寧に割って入ることができる。(P)
 あることが問題になっている理由を説明できる。(C)
 文化的なトピック(音楽、映画など)についての自分の考えを、ある程度詳しく述べることができる。(CA)
 考えや問題の要点を、妥当な正確性を持って説明できる。(C)
 相手が述べていることの大部分を理解し、理解を確認するために詳細を復唱できる。(CA)
 会話で使用される知らない頭字語や専門用語の説明を求めることができる。(P)
 未知語を説明したり、注釈を付けるのに、同義語を用いることができる。(CA)
- 56 56 進行中の議論やプレゼンテーションで、理解の確認を求めることができる。(P)
 短い物語や記事を要約してコメントを付け、質問に詳しく回答することができる。(CA)
 さまざまな公式または非公式の表現を使用して、申し出を丁寧に断ることができる。(P)
 非公式の議論において、自分の考えや提案を述べたり、他者の考えや提案にコメントしたりできる。(CA)
 必要に応じて助けを得ながら、実際的な問題についての意見を述べるすることができる。(CA)
 他者の意見について、短くコメントできる。(C)
 問題や物語を要約して自分の意見を述べ、質問に詳しく回答することができる。(CA)
- 57 57 書面による複数の情報源から集めた情報を照合し、考えを口頭でまとめることができる。(CA)
 事前に準備したインタビューを実行し、必要に応じて情報を調べたり確認したりできる。(CA)
 幅広い主題に関する助言を求めることができる。(P)
 丁寧な言い方の範囲内で、言い訳に答えることができる。(P)
 簡単な物語文や説明を、要点を直線的に並べたものとして、合理的かつ流暢に理解できる。(CA)
- 58 58 他者の意見を報告することができる。(P)
 他者に対し、議論や会話についてある程度詳細に伝えることができる。(P)
 他人の話を熱心に聞いていたことを示す方法で、意見の相違を表明することができる。(P)
 他人の話を熱心に聞いていたことを示す方法で、賛同を表明することができる。(P)
 正しく理解されなかった場合、方法を変えて質問することができる。(N2007A)

GSE 59–66/B2: Speaking

- 59 店や郵便局におけるあまり一般的でない状況(満足のいかない購入物を返品するなど)に対応できる。(CA)
 自分がある程度自信のある分野に関するさまざまなトピックについての情報を交換できる。(CA)
 物、所有物、製品などについて、その特徴や特別な機能も含めて詳細に説明できる。(P)
 本や映画の話の筋を、ある程度詳細に説明できる。(CSEA)
 自分の専門分野における基礎的な技術的指示を行うことができる。(P)

- 60 詳細な情報を確実に伝達することができる。(CA)
- 日常的な消費関連の問題を説明し、修正や解決を求めることができる。(P)
- さまざまな行動の必要性の度合いを説明できる。(P)
- 時事問題に関するさまざまなオプションの長所と短所を挙げるすることができる。(CA)
- さまざまなオプションの良い点と悪い点を議論することによって、時事問題に対する意見の正当性を示すことができる。(CA)
- 将来の計画や意思について、実現可能性の程度を示しながら、詳細に説明できる。(P)
- 間違いにより誤解が生じた場合、その間違いを修正できる。(N2000)
- 他者の機嫌や気持ちの状態を推察または推測することができる。(P)
- 過去における可能性について正確に話すことができる。(P)
- さまざまな表現を使用して、興味や理解を示すことができる。(P)
- 事実に基づく情報がやり取りされる、はっきりとした標準的なスピーチで話される習慣的な公式の議論に参加できる。(CA)
- 関連する説明や議論を提供することによって、自分の意見の正当性を示し、それを固持することができる。(CA)
- 他者が述べたことをより簡単な言葉で言い換えることができる。(P)
- 会話中である点を説明するために、関連性のある個人的な経験を話すことができる。(P)
- 61 長い会話において、なんらかの「苛立ち」を示す限られた数のリンキングワードを使用できる。(CA)
- 対面での調査において、質問に詳しく答えることができる。(P)
- さまざまな言葉を使用して、数量を細かく比較することができる。(P)
- さまざまな表現を使用して、感情（同情、驚き、興味など）を自信をもって表現できる。(P)
- 現代の社会問題や時事問題に関する議論において、自分の意見を述べるができる。(CSEA)
- 自分が行ったプレゼンテーションに対する、はっきりとした言葉で表現された質問に答えることができる。(CA)
- さまざまな語句を使用して、同意の程度を示すことができる。(P)
- 会話に参加していることが明らかに分かる様子で、ほとんどの一般的なトピックに関する長い会話についていくことができる。(CA)
- 62 根拠に基づく一連の議論を構築できる。(C)
- あることのやり方について、詳しい指示を交えながら説明できる。(C)
- いつもやってしまう間違いを書き留めて、スピーチ中にそうした間違いを起ささないよう意識的に注意できる。(C)
- 他者に議論に加わるよう促したり、自分の考えを述べたりできる。(CA)
- 一連の行動を行うべきであると、理由と共に説明できる。(P)
- 詳しい言い訳や理由を述べながら、フォーマルな謝罪を行うことができる。(P)
- さまざまな語句を使用して、熱意の程度を示すことができる。(P)
- 63 公式の議論において新しいトピックを導入することができる。(P)
- 手順を実行する方法を、明確な言葉で、詳しく口頭で説明できる。(C)
- 製品または機器の問題を正確に説明できる。(P)
- 特定の意見に対する賛成または反対の理由を示しながら、議論を発展させることができる。(N2000)
- 出来事や経験の個人的な重要性を、詳しく説明できる。(CA)

- 64 何を言うべきか、どのように言うべきかを、聴衆に与える効果を考慮しながら計画できる。(CA)
映画や演劇からの抜粋に含まれる出来事の、話の筋や順序を、口頭で要約できる。(CA)
原因、結果、または仮定の状況を推測できる。(N2000)
自分が発言する順番が来たときに、常套句で時間を稼ぎ、その間に言うべきことを考えることができる。(CA)
非公式の議論において、意見を明確に述べ、仮の提案を評価することができる。(CA)
問題について説明し、どのような措置を取るべきか、適切な方法で要求することができる。(CA)
はっきりとした流暢な言葉で、即興的な発表を行うことができる。(CA)
複数の状況がある程度詳細に比較対照し、現在の状況になっている理由を推測できる。(P)
流暢な話しぶりで、思い出せない単語を同等の単語に置き換えることができる。(CA)
- 65 理解を確認する、他者を議論に招き入れるなどをしながら、なじみのあるトピックに関する議論を管理できる。(CA)
日常的な幅広い語句を使用して、ニュースについての意見を述べるができる。(P)
議論において、イントネーションを使用して確実性のさまざまな度合いを示すことができる。(P)
さまざまな語句を使用して、どの程度気が進まないかを表現できる。(P)
さまざまな表現を使用して、目標を説明できる。(P)
- 66 さまざまなテキストを、対照的なポイントや主要なテーマについて議論しながら要約できる。(CA)
主張の論拠となる補助的ポイントや関連する例を示しながら、明確な議論を進展させることができる。(CA)
なじみのあるさまざまな主題に関して、明確で詳細な説明を行うことができる。(CA)
争点や問題の概要を明確に述べるができる。(CA)
たいていの場合、人が苦もなくついていくことのできる議論を進展させることができる。(C)
トピックが抽象的すぎたり複雑すぎたりしなければ、会話に流暢かつ自然に参加することができる。(P)
公式の議論またはプレゼンテーションにおいて、新しい情報を導入することができる。(P)
さまざまな主題に関しての助言を提供できる。(P)

GSE 67–75/B2(+): Speaking

- 67 会話において一般的に生じる話の方向、スタイル、および強調の変化に合わせることができる。(C)
適切なフレーズを使用して、なじみのあるトピックに関する議論に割って入ることができる。(CA)
感情や反応についての情報を交えながら、物語を詳細に語るすることができる。(P)
争点または問題の原因を推測できる。(CA)
- 68 内容を効果的な順序に並べた談話を自然に開始し、継続し、終わらせることができる。(CA)
修辭疑問文を使用して、会話の中のあるポイントを強調できる。(P)
- 69 誇張を使用して、あるポイントを強調できる ('It's going to take me years to do this' 「こんなことは何年かかってもできない」など)。(P)
行動や出来事がもたらし得る結果を正確に表現できる。(P)
さまざまな言語学的手法を使用して、考えを言い換えることができる。(P)
聞き手にはっきりと悟られずに、丁寧な言葉で質問への回答を避けることができる。(N2007A)
慣用表現を使用して、姿勢、意見、考えを述べるができる。(P)

- 70 譲歩の限界をはっきりと述べることができる。(N2000)
- 自分の考えを正確に述べ、複雑な議論の流れにも説得力のある言葉で対応できる。(CA)
- インタビューにおいて、インタビュアーからの助けをほとんど受けることなく、議論をリードし、考えを拡大発展させていくことができる。(CA)
- 争点や問題に対して取り得るアプローチや解決策の、長所と短所を比較できる。(CA)
- さまざまな言語学的手法を使用して、さまざまな考えを比較したり評価したりできる。(P)
- 仮定の出来事や行動およびその考えられる結果について話すことができる。(P)
- 重要なポイントや論拠となる関連する詳細を強調しながら、明確なプレゼンテーションを行うことができる。(CA)
- 現代の社会問題や時事問題に関する議論において、詳細な質問を尋ねることができる。(CSEA)
- 71 さまざまなつなぎ語を効率的に使用して、複数の考えの間の関係を明確に示すことができる。(N2000)
- 幅広い範囲のなじみのある主題に関して、構成のしっかりした詳細なプレゼンテーションを行うことができる。(CA)
- プレゼンテーションで修辭疑問文を用いて聴衆の興味を維持できる。(P)
- 72 必要な状況とときに応じて、フォーマルな使用域とフォーマルでない使用域を切り替えられる。(P)
- 流暢な話しぶりで効果的にインタビューを実行し、興味深い回答を即興的に拾い上げることができる。(CA)
- 73 自分自身の貢献を、他の発言者の貢献に、巧みに関連付けることができる。(C)
- 自分の専門分野における詳細な技術的指示を与えることができる。(P)
- 言語学的に複雑な談話を口頭で要約して、自分が理解していることを確認できる。(P)
- 流れがなめらかで論理的に構成された議論を、重要なポイントを強調しながら提案できる。(P)
- 言い争いを解決(不当な交通違反切符、事故の責任など)するために交渉を行うことができる。(CA)
- 語彙や構成で足りないところを補うために、回りくどい表現や言い換えなどを用いることができる。(C)
- 74 議論において他者が述べた反論に対し、詳細な返答ができる。(N2007A)
- 自分の仕事に関連する幅広い事柄について、複雑な情報交換を行うことができる。(CA)
- 公式の議論において、明確で強い主張を行うことができる。(CA)
- 75 言語学的に複雑な言葉を使用して、姿勢を示すことができる。(P)
- 聴衆からの質問に答えるために、流暢な話しぶりで、事前に用意したスピーチ原稿から離れて回答したり、原稿に戻って回答したりすることができる。(CA)

GSE 76–84/C1: Speaking

- 76 速いペースで口語で話される場合でも、グループ討論に貢献できる。(CA)
- さまざまな言語学的手法を使用して、問題と解決策の関係を詳細に説明できる。(P)
- 抽象的なトピックに関する質問に、明確かつ詳細に答えることができる。(CA)
- 思い出せない単語を、そうとは気づかせないほど自然に、同等の単語に置き換えることができる。(N2000A)
- 77 論争を呼びそうな叙述文を、よりニュートラルな言い方に言い直すことができる。(P)
- 78 複雑な主題についての詳細な説明を行い、明確な結論を付けて終わることができる。(CJA)
- 複雑なテキストに含まれる議論や出来事の説明を、明確かつ正確に要約できる。(N2007A)
- さまざまな言語学的手法を使用して、とりとめのない議論に結論をつけることができる。(P)

- 79 複雑もしくは抽象的なトピックについての会話に、流暢かつ自然な話しぶりで貢献できる。(P)
- 80 会話や議論において、言語学的に複雑な語句を使用して、自分の言いたいことを改めて説明することができる。(N2000A)
- 複数の流暢な話者とのペースの速い会話に参加できる。(CA)
- 81 複数の流暢な話者の、複雑なトピックに関して既に進行している会話に入っていくことができる。(CA)

GSE 85–90/C2: Speaking

- 87 さまざまな修飾表現を正確に使用して、細かな意味の違いを相手に正確に伝えることができる。(N2000A)

Writing

GSE 10–21/Below A1: Writing

- 10 自分の氏名、住所、国籍を書くことができる。(CA)
- アルファベットの文字を大文字と小文字で書くことができる。(P)
- 12 1から20までの基数を単語として書くことができる。(CSEA)
- 18 なじみのある単語、日常的なものに関する短いフレーズ、決まり文句などを真似ることができる。(CA)
- 20 筆記体で一貫して書くことができる。(P)

GSE 22–29/A1: Writing

- 23 簡単な申込書に個人についての基礎的な情報を記入できる。(CA)
- 24 日常的な主題（ある場所へ行くための道案内など）についての短い文を真似ることができる。(C)
- 25 自分の持ち物や、自分以外の人の持ち物について、簡単な文を書くことができる。(P)
- 26 基礎的な句読点（コンマ、ピリオド、クエスチョンマークなど）を使用できる。(P)
- 27 旅に関する情報を求める簡単な申込書（入国証明書、税関申告書など）に記入できる。(P)
- 自分の家族や住んでいる場所について簡単な文を書くことができる。(CA)
- 個人的な興味について簡単な文を書くことができる。(P)
- さまざまな一般的な名前のスベルを書くことができる。(P)
- 28 他者の人生や習慣について簡単な文を書くことができる。(P)
- 友人宛てに簡単なメモ、電子メール、投稿メッセージを書くことができる。(N2000A)
- 数字と単語の両者を用いて日付を書くことができる。(P)
- さまざまな一般的な仕事のスベルを書くことができる。(P)
- さまざまな一般的な挨拶のスベルを書くことができる。(P)
- 29 なじみのある物について簡単な文を書くことができる。(P)
- 数字と単語の両者を用いて時刻を書くことができる。(P)

GSE 30–35/A2: Writing

- 30 自分の仕事や、自分以外の人の仕事について、簡単な文を書くことができる。(CA)
- 31 部屋、家、アパートについての簡単な説明を書くことができる。(P)
 他者の仕事や義務について簡単な文を書くことができる。(P)
 限られた言い方で、個人についての詳細な情報を書面で提供できる。(CA)
 カードに標準的な挨拶を書くことができる。(P)
 'and'、'but'、'so'、'then' などの非常に基礎的な接続語を使用できる。(CA)
 カレンダーや日記に簡単な計画や準備を書き込むことができる。(CSEA)
- 32 非常に短い基礎的な道案内を書くことができる。(P)
 自分の感情について非常に短い簡単な文を書くことができる。(P)
- 33 個人的なスキルについて簡単な文を書くことができる。(P)
- 34 基礎的な定型表現を使用して、自分の好きなことや嫌いなことに関する短いテキストを書くことができる。(P)
 'like' や 'for example' を使用した非常に簡単なテキストで、あるものに関する例を挙げるることができる。(P)

GSE 36–42/A2(+): Writing

- 36 複数の人、場所、物などの中で簡単な比較ができる。(P)
 限られた言い方で、書面による個人についての詳細な情報を求めることができる。(CA)
 お気に入りのもの、所有物、飼っているペットについて説明した短いテキストを書くことができる。(CSEA)
- 37 視覚的な助けがあれば、なじみのある活動についての短い記述を書くことができる。(P)
- 38 感謝や謝罪を伝える非常に簡単な個人的電子メール / 手紙を書くことができる。(CA)
 場所、人、物についての短い基礎的な描写を書くことができる。(P)
 日常的な事柄に関連した短く簡単なメモ、電子メール、メッセージを書くことができる。(CA)
 日常における簡単なプロセス (レシピなど) の記述を書くことができる。(P)
 自分の好きなものや嫌いなものについて、その説明と共に短いテキストを書くことができる。(CSEA)
- 39 話者にくり返しを求めて内容を確認できる場合なら、短く簡単なメッセージを受け取ることができる。(CA)
 過去の出来事や活動に関する短く基礎的な記述を書くことができる。(P)
 限られた語句を使用して、簡単なテキストに含まれる対照を示すことができる。(P)
 要点をまとめた簡単なリストと共に、基礎的な説明書を書くことができる。(P)
- 40 基礎的な時間の表現を使用して、出来事に関する簡単な物語または記述を書くことができる。(P)
 簡単でかしまらない電子メールで、適切な書き出しと結びの言葉を使用できる。(P)
 名刺に印刷する場合など、自分自身の個人に関する詳細な情報を簡潔にまとめて書くことができる。(P)
 賃貸用のアパートや家に関する情報を求める短く簡単な電子メール / 手紙を書くことができる。(P)

- 41 招待を承諾または辞退する内容の基礎的な電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
 日常における個人的経験を説明した文を書くことができる。(P)
 自分の学歴や現在または過去の仕事について、簡単な文を書くことができる。(CA)
 重要な情報を簡潔に記した、非公式の基礎的な招待用の電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
 医学的な情報を求める簡単な質問票・問診票に記入できる。(P)
 日常的なこと(人、場所、仕事、勉強など)について、つながりのある文を書くことができる。(CA)
- 42 自分の文化(食べ物、祝日、祭りなど)に関する主要な情報を提供した簡単なテキストを書くことができる。(CSEA)

GSE 43–50/B1: Writing

- 43 簡単な語句を使用して、基礎的な助言を書くことができる。(P)
- 44 手本を示されれば、経験、感情、反応などに関する基礎的な描写を書くことができる。(P)
 簡単な物語文または説明の終わりを明確に指摘することができる。(P)
 手本を示されれば、日記やオンライン投稿で個人的な経験について書くことができる。(P)
- 45 他者にお祝いの電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
 簡単な直線的順序で物語を書くことができる。(CA)
 なじみのある装置や製品についての短い簡単な描写を書くことができる。(P)
 長いテキストにおいて、簡単に論理的なパラグラフ分割ができる。(P)
- 46 手本を示されれば、装置や製品の使い方に関する簡単な説明書を書くことができる。(P)
 手本を示されれば、結びの文、または基礎的なパラグラフを含む文を書くことができる。(P)
 なじみのあるトピックに関する、基礎的な構成の短い簡単なエッセイを書くことができる。(CA)
 簡単な問題と解決策の間の、基礎的な直接的関係を示すことができる。(P)
 情報を明確に伝える案内文を書くことができる。(P)
 基礎的でフォーマルな情報を求める電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
 ニュースや意見を提供する、フォーマルでない簡単な電子メール / 手紙やオンライン投稿を書くことができる。(P)
 将来のイベントや活動についての説明を書くことができる。(P)
- 47 一連の短い要素や事実を用い、それを1つの順序に構築して、日常に関するつながりのある文を書くことができる。(CA)
 過去の出来事、活動、個人的経験について内容を書くことができる。(P)
 個人的な興味を、ある程度詳細に書くことができる。(P)
- 48 旅の情報(ビザ申請書など)を求める詳細な書類に記入できる。(P)
 根拠となる限られた情報を記載した、基礎的な申し込みの手紙を書くことができる。(P)
 出来事、経験、感情についてある程度詳細に記した個人的な電子メール / 手紙を書くことができる。(CA)
- 49 構成がはっきりとしたテキストにおけるくり返しなど、簡単なリンキングワードを使用できる。(P)

- 50 助言を与える個人的な電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
- 数字と単語の両者を用いて分数を書くことができる。(P)
- 簡単なつながりのあるテキストで、経験、感情、反応について書くことができる。(CA)
- 元の文の言い回しやパラグラフ順序を使用して、簡単なテキストの基礎的な要約を書くことができる。(CA)

GSE 51–58/B1(+): Writing

- 51 限られた談話表現を用いて文をなめらかに結んで、つながりのある談話を作ることができる。(CA)
- 元の文の言い回しやパラグラフ順序を使用して、簡単なテキストの基礎的な要約を書くことができる。(P)
- 対応を求める、基礎的な苦情の電子メール / 手紙を書くことができる。
- 同情を伝える電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
- 教育に関する情報 (学習コースへの応募など) を求める書類に記入できる。(P)
- 実在の人または架空の人の短く簡単なバイオグラフィーを書くことができる。(CA)
- 手本を示されれば、簡単に構成のしっかりした情報提供用リーフレット / パンフレットを書くことができる。(P)
- 一般的な接続詞を使用して、書面で物語を伝えたり、出来事を説明したりできる。(CA)
- 52 物語文の時系列を明確に示すことができる。(P)
- 限られた語句を使用して、映画、本、テレビ番組の簡単なレビューを書くことができる。(P)
- 簡単な図表 (グラフ、棒グラフなど) が伝える主なメッセージを要約できる。(P)
- 53 基本的な考えを整理しながら、構成のしっかりした簡単なエッセイを書くことができる。(P)
- メッセージを受け取り、問い合わせをやり取りし、問題を説明できる。(CA)
- 現実の出来事または架空の出来事 (最近の旅行など) の描写を書くことができる。(C)
- 情報交換のための電子メール / 手紙を最も重要なポイントを強調して書くことができる。(C)
- 手紙、電子メール、またはオンライン投稿で、ある場所への細かい行き方を他者に分かりやすく教えることができる。(P)
- 54 簡単な書面によるテキストの、スペル、句読点、文法をチェックして、訂正することができる。(P)
- 情報を求めるフォーマルな電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
- 健康に関する情報を求める書類に記入できる。(P)
- ソーシャルメディアウェブサイトで、自分以外の人の個人的な近況に反応したりコメントしたりできる。(P)
- 55 招待を承諾または辞退する内容のフォーマルな電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
- 宛先となる受取人によって、電子メール / 手紙での挨拶の形式を変えることができる。(P)
- 金銭的な情報を求める書類 (銀行口座開設申込書、与信契約書など) に記入できる。(P)
- ソーシャルメディアウェブサイトで、適切なスタイルを用いて個人の近況を書くことができる。(P)
- はっきりと話される場合であれば、なじみのあるトピックに関するトークの要点についてメモを取ることができる。(CA)
- 構成のしっかりしたテキストにおいて、要点と例の簡単な関係を示すことができる。(P)
- 最近の出来事を詳細に報告した個人的な電子メール / 手紙を書くことができる。(CJA)
- ウェブサイトの掲示板にコメントを投稿できる。(P)

- 56 'however' を使って、簡単な論説文で反論を導入することができる。(P)
装置や製品の使い方についての説明書を書くことができる。(P)
- 57 興味のある分野の事実に関する情報を要約できる。(CA)
苦情の手紙や電子メールを、根拠となる詳細な情報と共に書くことができる。(P)
取引を行うウェブサイトで、販売する物品の内容について書くことができる。(P)
- 58 個人的なニュースや意見に対して詳細に返答した電子メール / 手紙を書くことができる。(CA)
製品やサービスについてのコメントや苦情を書くことができる。(P)
短い情報をまとめ、それを自分以外の人のために要約できる。(CA)
製品や機器に関する問題の描写を書くことができる。(P)
物、装置、製品の手入れの仕方についての説明書を書くことができる。(P)

GSE 59–66/B2: Writing

- 59 物、装置、または製品の詳細な描写を書くことができる。(P)
興味のある分野の事実に関する情報についてコメントできる。(CA)
関連する例を示しながら考えを支持することができる。(P)
標準的な手紙における形式や決まり文句を理解して実際に書いてみせられる。(P)
実在の人または架空の人についての詳細な内容を書くことができる。(P)
なじみのあるトピックに関するミーティングで提起された主なポイントについて、メモを取って記録できる。(CSEA)
適切な決まり文句を使用して、感謝または謝罪を伝えるフォーマルな電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
- 60 構成がはっきりとしたテキストにおける原因と影響の関係を明確に示すことができる。(P)
適切な使用域と決まり文句に従って、招待用のフォーマルな電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
ニュースについて詳しく説明しコメントをつけた、個人的な電子メール / 手紙を書くことができる。(CA)
- 61 明確な結論と意見によって、次々と展開する議論を終わらせることができる。(P)
物、装置、製品の修理方法についての説明書を書くことができる。(P)
理由も含めた助言を与えることができる。(P)
さまざまなソースからの情報を比較できる。(P)
構成がはっきりとした文章における事実と意見の違いを明確に示すことができる。(P)
事実に関する情報を伝える短い標準的な報告書を、行動した理由も述べながら書くことができる。(CA)
自分の身近な環境で起こっている出来事について、長い描写を書くことができる。(P)
1つの考えをさまざまな言い回しで再構成し、要点を強調したり説明したりできる。(P)
- 62 要点や根拠となる詳細情報を明確に示しながら、構成がはっきりとした文章を書くことができる。(P)
さまざまな慣用表現を使用して、非公式の電子メール / 手紙を書くことができる。(P)
さまざまなつながりやフレーズを使用して、追加して考えを述べるができる。(P)
さまざまな言い回しを使用して、構成がはっきりとしたフォーマルな文章に含まれる追加された情報を示すことができる。(P)
構成がはっきりとした文章における問題と解決策の関係を明確に示すことができる。(P)
- 63 現実の場所や架空の場所についての詳細に内容を書くことができる。(P)

- 64 構成がはっきりとした長いテキストに含まれる主要な考えについて、簡潔な要約を書くことができる。(P)
- 情報の入手元であるさまざまなソースを正しく理解することができる。(P)
- 抽象的または文化的なトピック(音楽、映画など)についての個人的な電子メール/手紙を書くことができる。(CA)
- 65 書面による明確な描写または物語文を、根拠となる関連する詳細情報や例と共に発展させることができる。(CA)
- さまざまなオプションの長所と短所を体系的に評価できる。(P)
- 明確で論理的なパラグラフで長いテキストを構成できる。(P)
- 適切な使用域と決まり文句に従って、根拠となる詳細と共に、申し込みの手紙を書くことができる。(P)
- 適切な使用域、構成、決まり文句に従って、苦情の手紙を書くことができる。(P)
- ニュースや考えを書面で効果的に表現し、他者のそれらと関係づけることができる。(C)
- 構成がはっきりとした書面によるテキストで、問題を説明することができる(CA)
- 66 なじみのあるトピックに関するエッセイまたは記事の正確な要約を書くことができる。(P)
- 次々と展開するテキストに含まれる意見と反論の関係を示すことができる。(P)
- 構成のしっかりした論理的なテキストに含まれる考えを比較および評価できる。(P)
- 状況にふさわしいレベルの形式を使用できる。(N2000)
- 読者の注意を引きつけるような、興味をそそる見出しやタイトルを書くことができる。(P)

GSE 67–75/B2(+): Writing

- 67 感情や、個人的な経験の重要性を、詳細に書くことができる。(CA)
- 興味のある分野に関連したさまざまな主題について、明確で詳細に内容を書くことができる。(C)
- 強い調子だが丁寧な苦情の手紙を、根拠となる詳細情報と、望ましい結果も含めて書くことができる。(P)
- 多数のソースから集めたなじみのある情報や主張を、統合し、評価できる。(CA)
- より長く、より複雑なテキストを構成するために、関連する小見出しを書くことができる。(P)
- ある意見に賛成または反対する理由を述べた主張を、体系的に発展させることができる。(P)
- 68 抽象的および具体的なトピックについて、情報や考えの確認を求めることができる。(CA)
- 他の人の主張に、書面で適切なスタイルで返答できる。(N2007A)
- 調和を生み出し受取人を安心させるために、分かりやすく簡潔な電子メールを書くことができる。(CA)
- 69 映画、本、または演劇について、ある程度の参照と例を含んだ構成のしっかりしたレビューを書くことができる。(CA)
- 書面による複雑な資料を、ナンバリングしたセクションとサブセクションに編成することができる。(P)
- 70 抽象的なトピックや具体的なトピックに関する情報や考えを伝達できる。(CA)
- 状況および推奨される行動についての長所と短所を分析した、構成のしっかりしたレポートを書くことができる。(P)
- 同一の考えを、読者に合ったさまざまなレベルの形式で表現できる。(P)
- 71 さまざまなジャンルの文の構成および決まった型を理解して、実際に書いてみせられる。(CA)
- 72 文字で書かれた長いテキストにおけるスベル、句読点、および文法の間違いを、チェックし、修正することができる。(P)
- ある事例に賛成または反対するための、詳細で根拠のある主張を書くことができる。(N2007A)

- 73 重要なポイントや、根拠となる関連情報を適切に強調した議論を発展させることができる。(CA)
- 74 複雑なプロセスについての詳細な内容を書くことができる。(P)
- さまざまなリンキングワードを使用して、より長くより複雑なテキスト構成ができる。(P)

GSE 76–84/C1: Writing

- 76 似たようなスペルだが意味の異なる単語を使用して、書面でジョークを述べることができる。(P)
- 多数のソースから集めた情報を統合したエッセイやレポートを書くことができる。(P)
- 事実に基づく複雑なテキストの、元の調子やメッセージを維持しながら、明確な要約を書くことができる。(P)
- 77 複雑で次々と展開するテキストの正確な要約を書くことができる。(P)
- 文化的イベント（演劇、映画、コンサートなど）や文芸作品について、詳細かつ批判的なレビューを書くことができる。(P)
- 文脈に適したレベルの形式を使用したライティングで、自分自身を流暢に表現できる。(P)
- 80 プロによる作品や文芸作品の、要約やレビューを書くことができる。(CJA)
- 81 書面にて、ニーズや目的を詳細に述べ、必要に応じてこれらの正当性を示しながら、自信をもって事例を議論できる。(N2007A)
- 82 特定の読者やトピックに対応するために、自分自身のやり方で、さまざまなライティングスタイルをなめらかに切り替えることができる。(P)
- 言語学的に複雑なテキストをより明確かつより簡潔なものにするために、編集したり、文を追加したりできる。(P)

GSE 85–90/C2: Writing

- 85 言語学的に複雑で、論理的に構成されたレポートや記事を書くことができる。(CJA)
- 意味が根底に含蓄された、構成が非常にしっかりとした複雑なテキストを作成できる。(CA)
- 重要な問題を強調しながら、ターゲットとなる読者にふさわしいスタイルで、複雑な主題について書くことができる。(CJA)

References

- British Council/EAQUALS (2010) *Core Inventory for General English*. London, British Council and EAQUALS.
<http://www.teachingenglish.org.uk/article/british-council-eaquals-core-inventory-general-english-0>
- Council of Europe (2001) *Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Council of Europe (2009) *Relating Language Examinations to the Common European Framework of Reference for Languages: Learning, Teaching, Assessment (CEFR): A Manual*. Strasbourg: Council of Europe; Language Policy Division.
http://www.coe.int/t/dg4/linguistic/Source/ManualRevision-proofread-FINAL_en.doc.
- North, B. (2000) *The Development of a Common Framework Scale of Language Proficiency*. New York: Peter Lang.
- North, B. (Ed) (2007) Expanded set of C1 and C2 descriptors. Strasbourg: Council of Europe; Language Policy Division. http://www.coe.int/t/dg4/education/elp/elp-reg/Source/Key_reference/C1C2descriptors_EN.pdf
- The Society for Testing English Proficiency Inc. (2008) *The Eiken Can-do List*: English Translation Retrieved 13.04.2017 from www.eiken.or.jp/eiken/exam/cando/pdf/Eiken_CandoList_translation.pdf
- Tokyo University of Foreign Studies Tonolab. (2012). CEFR-J Version 1. Retrieved from <http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/tonolab/cefr-j/english/index-e.html>
- Trim, J. (2009) *Breakthrough*. Strasbourg, Council of Europe. Available on www.ealta.eu.org

パーソナライズされた学習

The GSE Teacher Toolkit

Help your learners unlock their full potential with personalised learning paths created using the Global Scale of English Teacher Toolkit.

The free online tool includes:

- ✓ Searchable databases of learning objectives, vocabulary and grammar
- ✓ Downloadable search results for improved reporting
- ✓ Text analyzer to measure reading difficulty

GSEの詳細、およびGSE学習指標の4セットのダウンロードについては、www.pearson.com/languages/why-pearson/the-global-scale-of-english.htmlを参照してください。



**Be yourself
in English.**